



スタートアップ支援機関プラットフォーム 「Plus」 ご相談窓口「Plus One」

2021年10月

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
イノベーション推進部

政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップサービス機能強化

スタートアップ支援を行う9機関でMOUを締結し、スタートアップ支援機関プラットフォームを創設（通称 Plus (プラス) “Platform for unified support for startups”）。今後は、スタートアップ・エコシステム拠点都市とも連携しながら、当該協定を中心とした支援機関連携の拡大（政府系機関、金融機関、ベンチャーキャピタル等）や、個別機関間の取組の深化を通じて、スタートアップ・エコシステムの形成を目指す。

スタートアップ支援機関プラットフォーム

産総研、農研機構、AMED、IPA、JST、NEDO、中小機構、JICA、JETROの9機関が参加*し、ワンストップサービス機能を強化する（事業規模の合計は 約1,200億円） * 2020/7/16 現在

支援機関の特性に応じて一貫通貫の支援を実施



具体的な取組内容

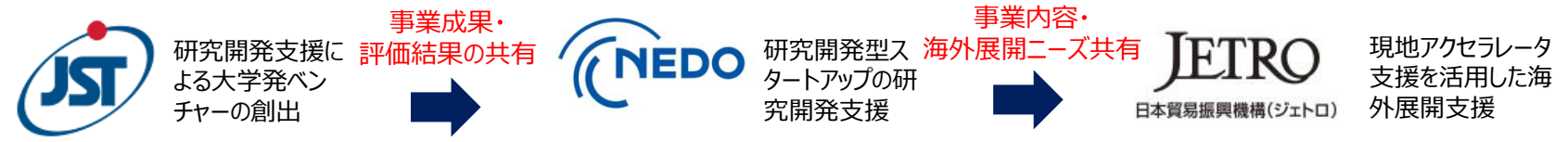
【取組1】 支援情報の共有・整理・発信
定例会の実施、支援施策の一元的な情報発信、ワンストップ窓口を設置

【取組2】 個別事業の相互連携の促進
参加機関間の支援メニューを連携させて、支援の幅を拡大

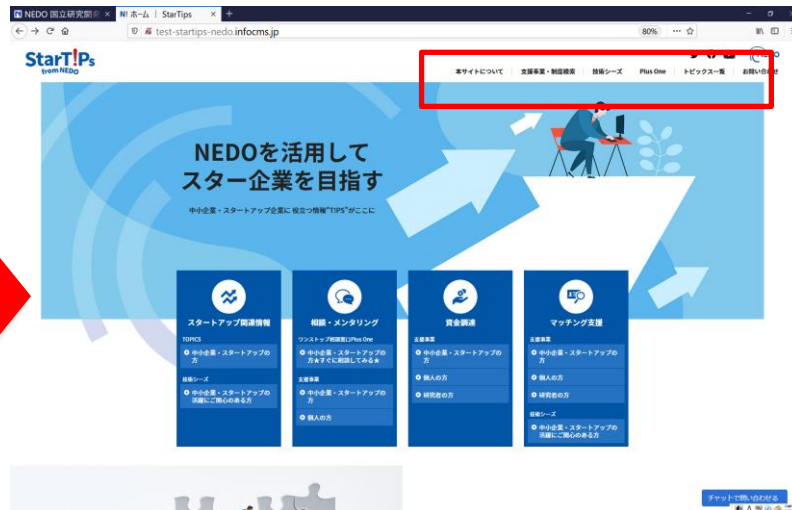
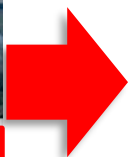
スタートアップ支援における従来の課題

- 各機関がバラバラに支援メニューを出している
⇒ スタートアップにおける情報収集コストが高い
- 支援機関間で情報共有・政策連携が不十分
⇒ 質の高いスタートアップに対して集中支援が行われない

一貫通貫した支援の例



●ワンストップ相談窓口『Plus One』



政府系スタートアップ支援機関の連携によるワンストップ相談窓口『Plus One (プラスワン)』

NEDOを含む政府系9機関等の支援事業に関するワンストップ相談窓口『Plus One (プラスワン)』へのお問い合わせを、本フォームでお受けいたします。

「政府機関の支援策を活用することを検討しているが、どのような事業を選択すればいいかわからない」、「誰に相談すればいいかわからない」というお悩みをお持ちのスタートアップの方は、ぜひお問い合わせください。可能な限り、合致する支援策や各機関の担当者をご紹介します。なお、必要に応じ、Plus参加機関に、貴社名やご連絡先、お問い合わせの内容を共有させていただきます。ご承諾いただきますようお願いいたします。

会社名・団体名・機関名	(例: NEDO Inc.) <input type="text"/>
氏名 (必須)	(例: 根戸 太郎) <input type="text"/>
メールアドレス (必須)	(例: taro@nedo.com) <input type="text"/>
電話番号	(例: 080-0000-0000) <input type="text"/>
所在地	(例: 神奈川県川崎市幸区大宮町) <input type="text"/>



- 事業概要
- 過去の助成金等の採択経験
- 相談内容 (具体的に)

Plus One-スタートアップ支援 ワンストップ相談窓口とは?

NEDOを含む政府系9機関は、スタートアップ支援を目指して、「スタートアップ・エコシステムの形成に向けた支援に関する協議」を締結し、スタートアップ支援に関するプラットフォーム(連携Plus(プラス))「Platform for unified support for startups」を創設いたしました。その一環として、ワンストップ相談窓口『Plus One (プラスワン)』も、NEDOにおいて運用いたします。

「政府機関の支援策を活用することを検討しているが、どのような事業を選択すればいいかわからない」、「誰に相談すればいいかわからない」というお悩みをお持ちのスタートアップの方は、ぜひお問い合わせください。

ワンストップ相談窓口はこちら

Plus Oneでは、政府系支援機関のご紹介を含めたご相談を無料で実施しております。お気軽にご相談ください。

[こちらから](#)
お問い合わせ

Plus参加機関の支援制度をフェーズ、支援内容ごとに紹介しております



スタートアップ支援機関の支援制度の紹介一覧 (続き)

StarT!Ps from NEDOのご紹介

NEDOは、2021年10月に中小企業・スタートアップ企業向けサイト「StarT!Ps from NEDO」を開設致しました。1社でも多く、NEDO事業・制度を活用いただくこと、また、NEDO事業を活用し、その成果を社会に普及させることを目的とするサイトです。是非一度ご覧ください。

StarT!Ps from NEDO

本サイトについて | 支援事業・制度検索 | 技術シーズ | Plus One | トピックス一覧 | お問い合わせ

NEDOを活用して スター企業を目指す

中小企業・スタートアップ企業に役立つ情報“TIPS”がここに

スタートアップ関連情報

TOPICS

- 中小企業・スタートアップの方

技術シーズ

- 中小企業・スタートアップの活躍にご関心のある方

相談・メンタリング

ワンストップ相談窓口Plus One

- 中小企業・スタートアップの方★すぐに相談してみる★

支援事業

- 中小企業・スタートアップの方
- 個人の方

資金調達

支援事業

- 中小企業・スタートアップの方
- 個人の方
- 研究者の方

マッチング支援

支援事業

- 中小企業・スタートアップの方
- 個人の方
- 研究者の方

技術シーズ

- 中小企業・スタートアップの活躍にご関心のある方

チャットで問い合わせる



2021年度 スタートアップ支援事業のご紹介

2021年9月

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
イノベーション推進部

■ 研究開発型スタートアップ支援事業の全体像

事業規模



- 研究開発型スタートアップの相談窓口
- 事業計画作成支援



- ・市場適用に向けた研究開発費等の補助
- ・事業会社等との連携 (研究開発支援の要件)

メンター・カタライザー
(VC・元起業家等、ビジネスプラン作成のプロ)

助言

- ・ビジネスプラン作成研修
- ・メンターからの助言
- ・ピッチコンテストによる投資家等とのマッチング

- ・カタライザーからの助言
- ・事業計画の構築
- ・PoCの実施のための研究開発費等の補助

認定VC

出資・ハンズオン支援

- ・認定VC等による出資・ハンズオン
- ・資金調達に向けたシーズ強化のための研究開発費等の補助



研究開発型スタートアップの相談窓口
事業計画作成支援

オープンイノベーションの促進



ステージ/時間

TCP (資金支援なし) 1年以内	NEP A 500万円未満/件 6か月以内	NEP B 3,000万円以内/件 12か月以内	STS 7,000万円以内/件 2/3 1.5年以内	PCA 2.5億円以内/件 2/3 約7か月以内	TRY 1億円以内/件 2/3 1年以内
-------------------------	-----------------------------	--------------------------------	----------------------------------	--------------------------------	----------------------------

TCP (Technology Commercialization Program)

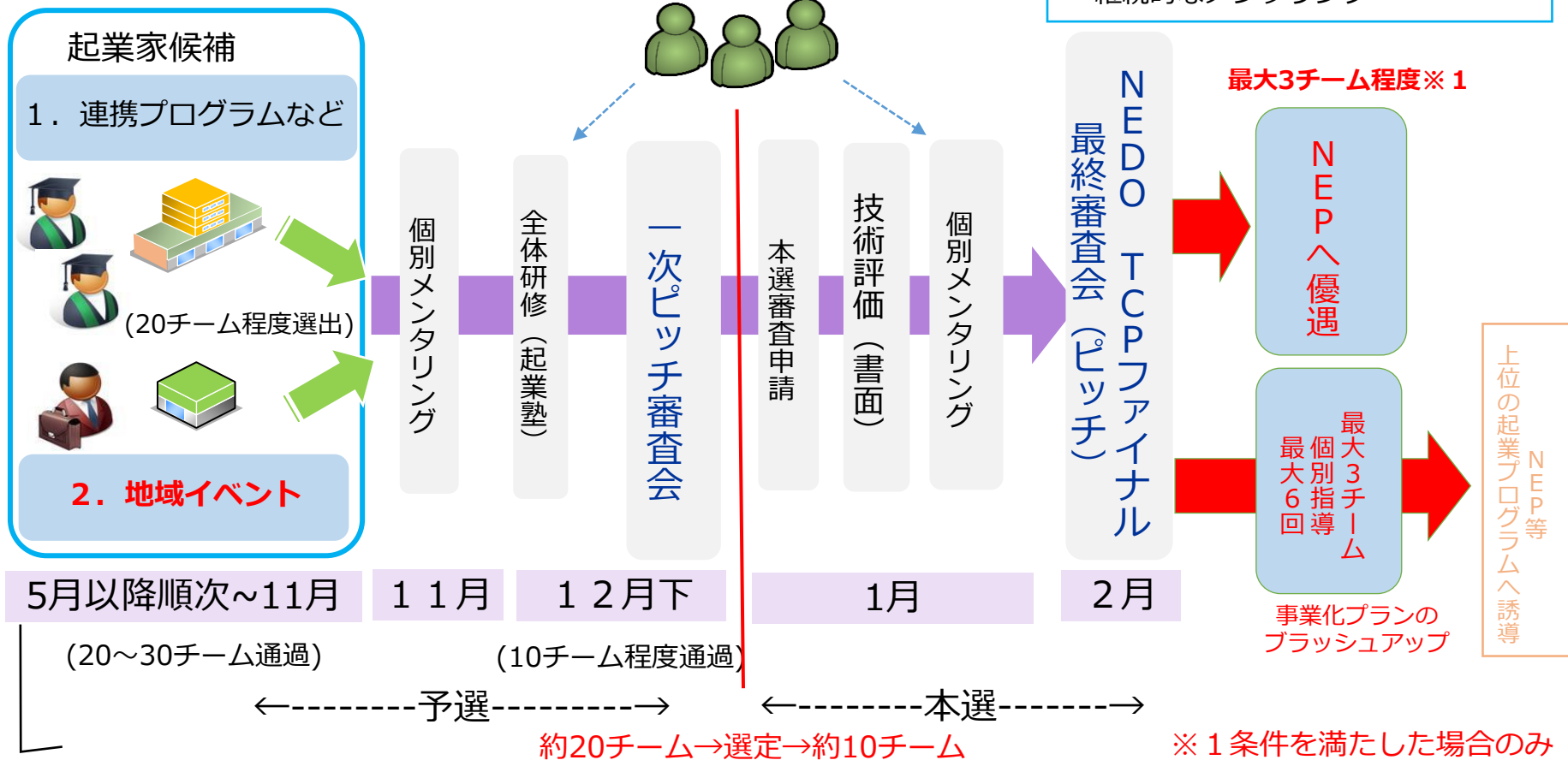
■ 大学・研究機関・スピンアウト等の方のための、起業家育成支援プログラム

対象者 (主な要件)	大学等の技術シーズを用いて起業を目指す研究者等（企業・大学等の個人、研究者又は研究チーム） ・TCP参加時に起業していない個人、研究者又は研究チーム ・具体的な技術シーズを活用し、それに基づく事業構想を有する起業家であって、我が国の経済活性化に寄与すると認められる内容であること	
募集分野	環境・エネルギー、電子・情報通信、バイオ・ヘルスケア、機械システム、ロボット、材料・ナノテクノロジー等の「技術」を活用したビジネスプラン ※但し、原子力技術に係るものは除く	
参加方法	・公募は実施しません。 ・各連携イベント・プログラムにて、NEDO賞を受賞すること	
支援内容	・国内外の専門家による助言および研修 ・活動費の直接的な支援はなし	
賞	最優秀賞（1件）、優秀賞（1～2件）及びファイナリスト賞（10件程度）を表彰 ※優秀者には、NEP等上位の起業プログラムへ誘導するメンタリング等、優遇	
スケジュール	プログラム	①オンライン研修（随時） ②専門家によるメンタリング（随時） ③プレゼン指導研修（11月下旬実施予定）
	一次ピッチ審査会	12月（予定）
	最終審査会（ピッチ）	2月（予定）
	NEDO TCP 専用サイト	https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100103.html



NEDO TCP2021の流れ

※変更の可能性もございます。



一次審査会通過者の特典

- 投資家等を前にしたピッチ登壇と、ポスター発表
- 継続的なメンタリング

- 【留意点】公募は実施いたしません。下記の連携プログラム・地域イベント等から候補者を選出します (NEDO TCP専用サイト参照)**
- 未来X
 - No Maps Dream Pitch 2021
 - TOHOKU GROWTH ACCELERATOR
 - Mt.Fujiイノベーション・キャンプ2021
 - Matching Hub Hokuriku (Matching HUB Business Idea & Plan Competition:M-BIP)
 - Tongaliビジネスプランコンテスト2021
 - 第3回 CHALLENGE GATE
 - HANDAI PITCH Autumn
 - Japan Tech-based Venture Competition2021
 - Deep Tech Commercialization Pitch
 - 徳島ニュービジネス支援賞2021
 - IoT Maker's Project
 - Startup GoGo
 - 大学発ベンチャー企業PITCH

NEP : 専門家(カタライザー)による支援/PoC支援プログラム

■ 大学・研究機関・スピンアウト等の方のための、起業支援/PoC支援プログラム NEDO Entrepreneurs Program

項目	NEPタイプ A [個人]	NEPタイプ A [法人]	NEPタイプ B
対象者 (主な要件)	技術シーズを活用した事業構想を有する、起業家候補人材： 個人事業主、起業を志す企業の社員、起業を志す研究者 ●公募開始時に応募事業で法人を設立していないこと：必須条件（登記済は応募不可）		
法人登記について	●法人化の条件なし	●交付決定時に、応募事業内容にて新たな法人化が条件 ●タイプA/タイプBの併願可能	
助成金額	500万円未満 ※個人と法人で助成対象費用に違いあり（詳細は次頁）		3000万円以内
事業期間	6ヶ月以内		1年間以内
対象技術分野	経済産業省所管の鉱工業技術（但し、原子力技術に係るものは除く）		
スケジュール	2021年10月8日～11月30日：第2回公募予定		

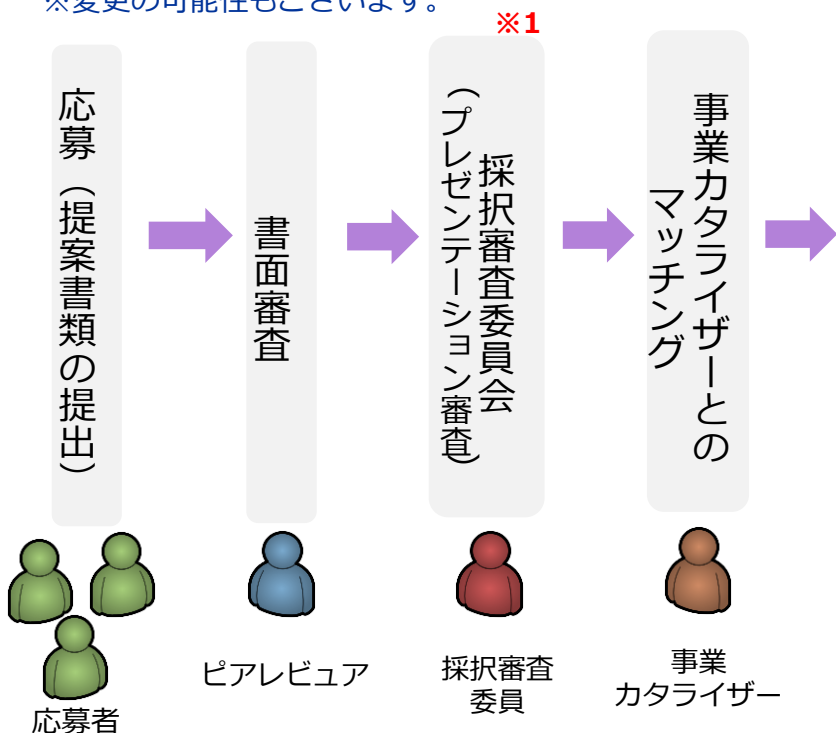
NEP助成対象費用

※税抜50万円以上、かつ使用期間1年以上の機械装置費等

項目	NEPタイプ A [個人] 立替なし	NEPタイプ A [法人] 立替あり	NEPタイプ B 立替あり
I. 機械装置等費 1. 土木・建築工事費 2. 機械装置等製作・購入費 3. 保守・改造修理費	処分制限財産 (※) の取得不可	処分制限財産 (※) を取得可能	
II. 労務費 1. 研究員費 2. 補助員費	労務費対象外 ×		補助員費のみ対象 △ 500万円又は助成額全体の25%未満のいずれか低い方
III. その他経費 1. 消耗品費 (資材・部品・消耗品等) 2. 旅費 (国内外旅費・滞在費・交通費) ※主任研究員含め3名まで 3. 外注費 (ソフトウェア・ハード設計請負外注) 4. 諸経費 (光熱水・会議・委員会・通信・借料・通訳 図書資料・運送・関税等の費用)	1. ○ 2. ○ 3. ○ 4. ○ ただし、処分制限財産(※)× ただし、特許出願費用×	1. ○ 2. ○ 3. ○ 4. ○ ただし、特許出願費用×	
IV. 委託費・共同研究費	共同研究費のみ認める (委託研究は不可) 助成金全体の50%未満		共同研究費のみ認める (委託研究は不可) 助成金全体の25%未満

NEP2021の流れ

※変更の可能性もございます。

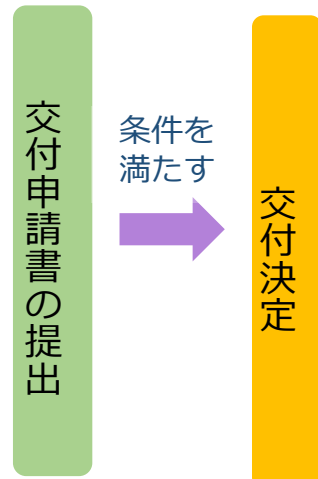


交付決定条件※2

条件1
担当事業カタライザーの決定
(事業カタライザーとマッチングすること)

条件2
運営管理法人と経理業務等に関する委任契約を締結したことの報告書の提出 運営管理法

条件3
設立法人に関する確認書類(履歴事項全部証明書、定款の写し)の提出



- ※1 : プレゼンテーション審査は**タイプB**のみ
- ※2 : 原則、45日以内に交付決定条件を満たすこと
 - ・ **タイプA [個人]** : 条件1,2が必要
 - ・ **タイプA [法人] 【タイプB】** : 条件1,3が必要

NEP予算額と公募情報

2018年度 (委託)	予算 : 1.0億円	公募 (4/24~5/24) 採択決定20件/応募90件 (4.5倍)
2019年度 (助成)	予算 : 1.0億円	公募 (3/25~4/25) 交付決定13件/応募45件 (3.5倍)
2020年度 (助成)	予算 : 約30億円	第1回公募 (4/28~5/28) 交付決定16件/応募38件 (2.4倍)
		第2回公募 (10/8~11/20) 交付決定22件/応募59件 (2.7倍)
2021年度 (助成)		第1回公募 (4/1~5/17) (締切済み) 第2回公募 10月8日~11月30日 公募中

※事業ページ



● NEPのポイント

● 専門家による事業化支援/ PoC支援プログラム

1. **メンタリング**：助成期間中(6ヶ月/1年間) 各事業者プロのカタライザーが個別に伴走し、ビジネスが加速するようにアドバイス！
 2. **研修**：**フォローアップ研修受講 (3回)**
 3. **助成金あり**：**500万円未満(6ヶ月以内) 3000万円以内(1年間以内)**
 - ※全額助成(助成率100%) 消費税のみ本人負担
 - ※タイプA(個人)のみ:立替払い不要
 4. **併願可能**：タイプAとタイプBは併願応募可能
 5. **NEPでの取組みにおける成果発表会の開催**
 - ※露出の機会を設け、STSへと繋げる
 - ※認定VC/メンターとの繋がり
 - ※NEDO事業者は一定の信頼が得られる
 6. **NEDOの後方支援**：スタートアップに有益な機会や情報の提供
 - ※公募やセミナー情報/展示会への無料出店/広報誌への掲載/コンテスト等への推薦 他
-

● NEP公募説明会 / 提案書添削指導

1. 公募説明会について

- 参加方法：公募ページの「申込ページはこちら」より登録。

開催日	時間	実施方法	申込み
10月18日(月)	14時05分～15時00分 ※14時より待機可能	オンライン(Teams)	事前申込(要)
11月5日(金)	14時05分～15時00分 ※14時より待機可能	オンライン(Teams)	事前申込(要)

2. NEP提案書添削指導について

- 申込み方法：公募ページの「提案書添削指導」を確認の上、所定の宛先へ提案書を送付すると、コメントが返送されます。
※NEDO公式サイトへ詳細を掲示予定（10月18日頃）
- 添削受付期間：10月中旬～11月中旬（最大50件程度）

NEP
添削指導
準備中

【留意点】コメントはあくまでも参考であり、その内容を全て反映させたとしても、採択を約束されるものではありません。また、コメント内容へのお問合せは受け付けません。

STS 研究開発型スタートアップ支援事業

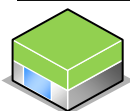


ベンチャーキャピタル等と連携してシード期のスタートアップを支援

シード期の研究開発型スタートアップ(STS)への事業化支援

具体的な技術シーズを活用した事業構想を持ち、NEDOが認定したベンチャーキャピタル等が出資を行うシード期の研究開発型スタートアップに対して、事業化のための助成を行います。

対象者	シード期の研究開発型スタートアップ企業 (STS) (NEDOが認定したベンチャーキャピタル等 (認定VC) から助成対象費用の1/3以上の出資を受けること)
事業形態	助成 (NEDO負担率: 助成対象費用の2/3)
助成金額上限	7千万円若しくは2億円/事業期間
事業期間	交付決定日から最長1.5年以内若しくは最長2年以内
対象技術分野	経済産業省所管の鉱工業技術 (ただし、原子力技術に関わるものは除く)



STS(Seed-stage Technology-based Startups)の 主な要件

- 日本登記された法人であること。
※中小企業基本法等に定められている中小企業者に該当する法人で、みなし大企業に該当しないこと。
- 特定の技術シーズを有し、その実用化開発と事業化を行うシード期の研究開発型スタートアップであること。
- 認定VCから助成対象費用の1/3以上の出資を公募要領で定める期日以降に受けていること。または、今後出資が予定されていること (出資の意思決定確認書等が必要)。
- 競争力強化のためのイノベーションを創出しうるものであること。



認定VC等の主な要件

- 業としてスタートアップ企業への投資機能を有し、STSを支援するハンズオン能力を有するVC等 (チームによる申請も可。)
 - 国内にSTS等を支援する拠点 (支店も可) を有し、常駐スタッフを配置していること (計画段階も可)。
ただし、常駐スタッフはSTSの支援実績、または支援能力を有すること。
- <認定期間> 2021年度
ただしSTSの支援期間中は当該STSに対しての権利義務を継続。

・認定VC (2021年度: 37社)

株式会社みらい創造機構

MedVenture Partners 株式会社

株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ

合同会社K4Ventures

DRONE FUND株式会社

ジャフコグループ株式会社

インキュベイトファンド株式会社

株式会社ジェネシア・ベンチャーズ

日本ベンチャーキャピタル株式会社

ニッセイ・キャピタル株式会社

15th Rock Ventures 有限責任事業組合

Beyond Next Ventures株式会社

株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ

株式会社ディープロア

ANRI 株式会社

モバイル・インターネットキャピタル株式会社

株式会社ファストトラックイニシアティブ

JMTCキャピタル合同会社

QBキャピタル合同会社

みやこキャピタル株式会社

SBIインベストメント株式会社

株式会社デフタ・キャピタル

合同会社リアルテックジャパン

伊藤忠テクノロジーズベンチャーズ株式会社

ユニバーサルマテリアルズインキュベーター株式会社

バイオ・サイト・キャピタル株式会社

株式会社クイエスピー

大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社

東京大学協創プラットフォーム開発株式会社

ウエルインベストメント株式会社/AZCA, Inc.

株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ

Abies Ventures株式会社

株式会社 サムライインキュベート

株式会社MAKOTOキャピタル

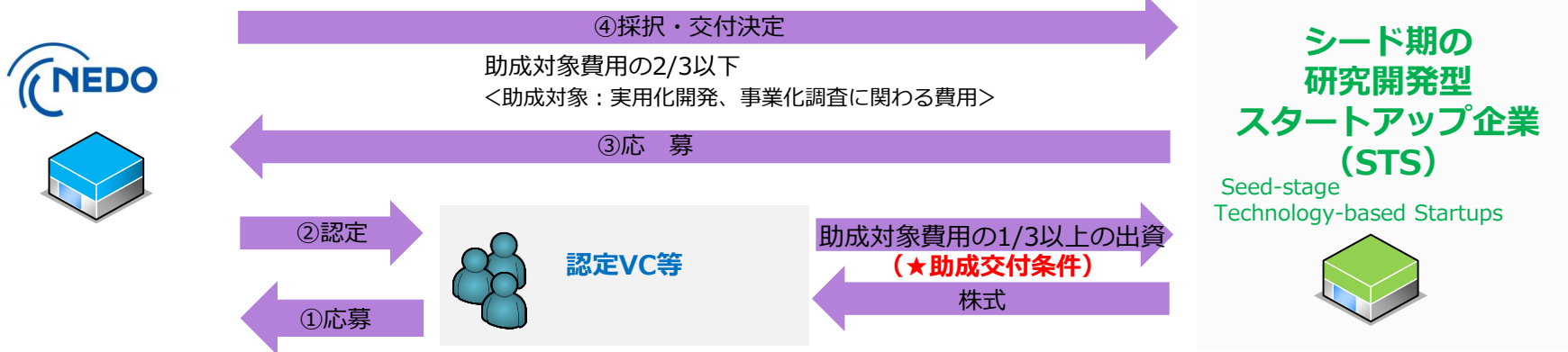
東京理科大学イノベーション・キャピタル株式会社

Bonds Investment Group株式会社

株式会社Coral Capital

「研究開発型スタートアップ(STS)への事業化支援」予算額と公募情報

2017年度	予算 : 15.0 億円	第1回公募 (2017/4/3~5/31) 交付決定15件/応募26件 (1.6倍) 第2回公募 (2017/7/19~8/21) 交付決定7件/応募12件 (1.7倍)
2018年度	予算 : 8.0 億円	第1回公募 (2018/3/19~5/7) 交付決定9件/応募23件 (2.6倍) 第2回公募 (2018/7/12~8/31) 交付決定9件/応募27件 (3.0倍)
2019年度	予算 : 6.0 億円	第1回公募 (2019/1/25~2/25) 交付決定5件/応募21件 (4.2倍) 第2回公募 (2019/7/4~8/23) 交付決定6件/応募19件 (3.2倍)
2020年度	予算 : 7.0 億円	第1回公募 (2020/1/27~2/27) 交付決定6件/応募18件 (3.0倍) 第2回公募 (2020/5/26~7/15) 交付決定6件/応募21件 (3.5倍) 第3回公募 (2020/10/9~12/3) 交付決定5件/応募15件 (3.0倍)
2021年度	予算 : 11.0 億円	第1回公募 (2021/1/25~3/4) 交付決定5件/応募17件 (3.4倍) 第2回公募 (2021/5/17~6/24) (締切済) 第3回公募 (2021/9/14日~10月19日 公募中)



【参考】2021年度第1回公募 交付決定先 (5社)

PaylessGate株式会社 株式会社グリラス ソニア・セラピューティクス株式会社 Symbiobe株式会社 株式会社セルフファイバ	ハンズフリー認証プロトコルシステムの開発と脆弱性検証 ゲノム編集を用いた食用コオロギの品種改良技術の実用化 次世代型集束超音波装置の治療支援システム開発 光合成細菌を用いたバイオ高分子・農業用窒素肥料生産技術の開発 医療用細胞の量産を実現するGMP対応・細胞カプセル化装置
---	--

●事業ページ

